



## 多様な体験を通して



園長 大矢 晃子

園庭に色とりどりの花が咲き、春の季節を感じながら、子どもたちは園でワクワクした毎日を過ごしています。

ある日、子どもたちは咲き終わったチューリップの花びらを集めて、水に入れてつぶしていました。すると、鮮やかな赤色のジュースができあがりました。「もっとこうするといいんだよね。」と子どもたちは前にやってみたことを思い出し、自分からいろいろな方法で試して、色の出方や混ざり方を楽しんでいました。



この場面から、子どもは自分で体験したことを生かして考え、さらに工夫しながら遊んでいることがわかります。ここで、私たちが大事にしていることは、子どもが自ら「やってみたい」と思う環境をつくることです。それには、この遊びから子どもは何を経験し、何を学ぶのかを計画的、意図的に考え、環境を用意する必要があります。そして一人一人に必要な働きかけを保育の中で行っていきます。このように日々の保育を通して、幼児期にふさわしい、主体的な遊びや生活の積み重ねによって、子どもたちの資質・能力を育てています。

おいしそうなジュースが出来上がると、「ほら！みてみて！」と嬉しそうに見せにきます。そして、「わあーほんと！おいしそうだね！」と受け止めてくれる先生や友達がいるからこそ、子どもは、自己を発揮し「自分でもできる！すごい！」といった自己有用感や自己肯定感を得ることができるのです。

西幼稚園が目指す子どもの姿は「自分のやりたいことに取り組み、しなやかにたくましく生きる子」です。しなやかな心とは、困ったことが言える、失敗してもあきらめない、気持ちを立て直すことができるようになることです。たくましさは、自ら考え行動する力で、いろいろなことに興味をもってやってみる、あきらめないでやってみる、いろいろな方法があることを知る、といったことです。

子どもたちの輝く笑顔のため、少人数のよさを十分に生かし、異年齢保育を通して様々な観点から子ども主体の保育を進めてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



## 春を感じて遊ぶ



花びらが水に浮かくかどうか試しています。



さわやかな風を集めて遊びました。こいのぼりも元気に泳ぎます。



お友達と手をつないで、近くの公園に出かけてきました。



## いろいろな人とのかわり



バスに乗って、牡丹山幼稚園に出かけました。市之瀬幼稚園のお友達も一緒に楽しく遊んできました。ありがとうございました。



園でおいしい給食を作ってもらっています。



近くの八百屋さんにはどんな野菜があるのかを見に行ってきました。「畑で何をそだてようかな。」

